

平成 17 年 3 月 7 日

各 位

株式会社 三井住友銀行

ホームページのアクセシビリティの強化について
～大手行として初のホームページでの本格的なバリアフリー対応～

株式会社三井住友銀行（頭取：西川 善文）は、大手行として初めて、「アクセシビリティ」に本格的に対応し、本日、「三井住友銀行 Web アクセシビリティガイドライン」とこれに沿ったホームページを公開しましたので、お知らせ致します。

なお、アクセシビリティとは、「ホームページに掲載されている情報を誰もが負担なく取得できること」で、近い将来に各企業のホームページに対して社会から強く要請されると予想されます。特に障害者や高齢者にとって、どの程度利用しやすいホームページであるかという意味で多く使われています。

1. アクセシビリティ強化の背景

- (1) 障害者や高齢者は音声読み上げソフトやブラウザのユーザ補助機能を用いてホームページから情報を取得していますが、現状ではこのソフトや機能に配慮したホームページは少ない。
- (2) このため、政府は昨年 6 月、ホームページにおけるアクセシビリティへの配慮を J I S として標準化し、政府・地方自治体に加えて銀行等の社会的役割の大きい企業にその準拠を求めました。

2. アクセシビリティ強化の内容

これを受けて、当行は、大手行として初めてアクセシビリティに本格的に対応すべく、以下の施策を実施しました。

- (1) J I S 指針をベースに独自のアクセシビリティガイドラインを作成、公開
- (2) ガイドライン準拠のホームページを公開(※)
- (3) 利用者からアクセシビリティに関する意見・要望を受け付けて、今後の強化に活用

(※)現在公開しているホームページの中には、本ガイドライン制作前に作成したものが多くあり、ガイドラインに対応できていない部分も一部残っています。こうした部分は、今後必要に応じて順次改善、更新していくよう努めるとともに、今後作成する部分についても本ガイドラインを遵守して作成していくよう努めます。

【参考】三井住友銀行 Web アクセシビリティガイドライン

<http://www.smbc.co.jp/accessibility/guidelines/>

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

広報部 田中 TEL：03-5512-2687

【補足資料】

当行ホームページの情報を、例えば視覚に障害のある方が音声読み上げソフトを用いて取得する場合、主に以下の効果があります。

- (1) 各ページで同一のナビゲーションが繰り返し読み上げられずに済むよう、必要に応じて読み飛ばせるようになっています。
- (2) 画像は音声で読み上げられませんが、適切な代替テキストを用意しているため、画像の内容も音声で読み上げられます。
- (3) HTML文書における見出し、段落、リストなどの要素を正しく指定しているため、音声で読み上げた場合にも音声ブラウザの機能によって（見出しの前にサウンドが鳴ったり音声が変わるなど）分かりやすく聞くことができます。
- (4) 「右側のボタンをクリックしてください」のような位置や色、形に依存した文章の記載はなくし、音声だけで内容が理解できます。

など

「三井住友銀行Webアクセシビリティガイドライン」には61の項目があり、詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.smbc.co.jp/accessibility/guidelines/>